

日時 令和4年5月16日(月) 15時00分～
場所 久留米市本庁舎20階 第3委員会室
出席委員 原口 新五 (久留米市長)
井上 謙介 (教育長) 喜多村 浩司 (教育委員)
江頭 理江 (教育委員) 緒方 麻美 (教育委員)
中野 浩美 (教育委員) 内村 直尚 (教育委員)
事務局 秦 美樹 (教育部長)
平田 敬一 (教育部次長) 四ヶ所 清隆 (教育振興担当次長)
川上 喜美子 (学校施設課長) 渡辺 唯希 (学校施設課計画主幹)
箔谷 恵 (政策調整官)

1 開 会

事務局 ただいまより、令和4年度 第1回 久留米市総合教育会議 を開会いたします。それでは、開会にあたりまして、市長にご挨拶をお願いします。

2 あいさつ

市長 令和4年度第1回目の総合教育会議を開催するにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。
教育委員の皆様におかれましては、日頃から本市の教育行政の充実と発展にご尽力をいただいておりますことに、感謝申し上げます。
議会でも大変議論になっております学校施設の老朽化の問題や、統合問題等、皆様方には10年20年という期間で今後の在り方をご協議いただきたいと思います。また、イベントは全て行いたいと思っています。どうしたらできるのかを考え、思い切って前に進めていこうと思っています。教育委員の皆様方にはご支援いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3 議題 久留米市立学校の施設整備について

事務局 それでは議題に入らせていただきます。本日の議題は「久留米市立学校の施設整備について」です。学校施設を取り巻く環境や久留米の学校施設の現状・課題について事務局より説明させていただきます。

(事務局説明)

事務局 事務局からの説明が終わりました。
ご意見やご質問があれば、よろしくをお願いします。

A委員 災害時に、学校が地域の住民に対して避難場所として提供され、機能することは大変重要だと考えます。災害時に避難所として学校を提供することは、増改築の際の必須条件ですか。

- 事務局 新たに増改築する場合の避難所対応は、今後考えていかなければならない課題であると認識しています。学校が避難所として全ての機能を網羅できるわけではないため、どこの部分でどのような使い方をするのか整理が必要です。
- B委員 小学校が土地の低い地域にあって、危険なところはありますか。
- 事務局 筑後川が氾濫したと仮定すると、川沿いの小学校は浸水するところもあります。
- B委員 そのような小学校は、筑後川が氾濫した時にはどのような避難をするのですか。
- C委員 小中学校の保護者向けのお便りでは、浸水が考えられる場合には、公共の場所でなく、高台など、より高い場所へ逃げるのが周知されています。
- 事務局 学校ごとにあらかじめ想定される浸水の高さが分かっています。現在においても、浸水が想定される学校については、校舎の2階以上に避難をするなどの対策を取っています。
- C委員 学校に行くまでの道路が浸水してしまうことも考えられますので、そういった場合は2階に避難というよりも、高台への避難が推奨されていると認識しています。
- B委員 東日本大震災の時は、子ども達が学校にいる間に災害が発生し、学校からどのように避難するのかということが問題になったと思います。久留米市でも子ども達が学校にいる時間帯に災害が起こった場合を想定し、常日頃からの訓練が必要だと思います。
- 教育長 大雨の時には、学校は休校することが大原則となっています。子どもが学校にいる時間帯に川の水位が高くなった場合には、教員が通学路の安全を確認し、保護者へお迎えの連絡をとるなどの対策をしています。地震の場合は、緊急の対応となりますので、日頃からの避難訓練が重要であると考えています。
- 市長 小中学校は、場合によっては前日に休校のお知らせができることもあります。幼稚園や保育園場合は、保護者の仕事の都合上、休園にしないで欲しいという要望もあり、子ども達の安全を優先させることとの間で苦慮したところです。雨量に関しては、国土交通省が今後24時間の予測を公表していますので、事前に何らかの対策が取れるのではないかと考えています。しかし、地震の場合は、どの橋が危険なのか等の想定ができないため、緊急の判断となります。また、学校改修のための予算確保を懸念しています。学校施設は築40年から50年の建物が多くあります。統合や改修などを、どのように進めていくのが課題です。学校改修に関する国の予算は十分ですか。

事務局 当初予算で計画的に実施したいところですが、最近は補正予算で、年度の後半で積み増しされるため、それにどれだけ対応できるかという状況です。

事務局 高度経済成長期には子どもの数が増え、一斉に学校施設が建設されています。これは久留米だけでなく、全国的に見ても同様で、今後同じように老朽化が進みます。当時セメントに海砂を使用していたことで、老朽化がさらに進んでいるということもあるようです。国の予算がなかなか確保できないという背景には、久留米だけでなく全国的に校舎の建て替えが発生し、国の補助を求めているということがあります。この状況は事前に想定できますので、国は自治体が長寿命化計画を策定し、なるべく長く施設を使っていこうとしています。こうした状況を踏まえながら、修繕に多大な費用を要するなど建て替えが必要な校舎については、国の補助を活用した建て替えと小学校の統合を進めていきたいと考えております。

C委員 国で688億円の予算がついていますが、全国的に老朽化が進むということであれば、必ず足りなくなると思います。お金が足りない、困ったと言うだけではなく、国への要望をするべきだと思います。

事務局 大きなお金が必要となりますので、国費の最大限の活用は絶対条件だと考えています。これは久留米市だけの問題ではなく、全国的な問題だと認識しています。福岡県内でも連携しながら、国へ要望していきたいと思えます。

D委員 国への要望も大事ですが、久留米市独自でお金を生み出す方法を考えるべきではないでしょうか。自治体によってはふるさと納税で財源を確保しているようですが、久留米市のふるさと納税の収入額はどのくらいでしょうか。また、同じ規模の市と比べて多い方でしょうか。

市長 20億円くらいあり、中核市の中では多いほうだと思います。

D委員 久留米市独自で財源を生み出す方法を模索し、それをもっと人を育てる教育費に充てるべきだと考えます。

市長 久留米市には産業団地が多く存在しますが、企業誘致に成功し、満杯になっています。また、災害で農業による税収が30億円落ち込んでも、市全体の税収は落ち込みませんでした。大久保前市長やこれまでの久留米市の政策が良かったからだと思えます。

ふるさと納税に関しては、返礼品の新規開拓や返礼品なしの寄付者を増やす取組を行っています。5月にオープンした資生堂との取組等、税収を上げるために様々な方策を模索しているところです。

文科省は、学校施設について単なる施設の改築は認めないが、統合など自治体が行き組んだものについては考えると言っています。我々自治体も、財源を確保しながら、どうすれば予算がつくのか改善し、考えていかなければならないと思えます。

事務局 ありがとうございます。その他、何かございますか。

D委員 災害が毎年発生していますので、皆が安心安全に暮らせるまちづくりをお願いします。

事務局 皆様、貴重なご意見ありがとうございました。
今回いただきましたご意見等を踏まえながら、久留米市の学校施設の整備に向けてしっかりと取り組んでいきたいと思えます。

事務局 最後に、市長より一言お願いします。

市長 城島地域では小学校の統合があつていきますので、次回にでも報告をさせていただきますと思えます。また、学校のグラウンドに貯留施設を整備する等、この1年間で様々な動きが出てくると思えます。子どもたちの安全を守るために、避難所や学校施設の老朽化対応、地震への対策等、いろいろ提案させていただきますと思えますので、よろしくお願ひいたします。

事務局 (閉会宣告)